



追手門学院大学社会学部の学生が展示運営を通して“学び”を形に 黒木 結「鑑賞のプロセス」展を開催

追手門学院大学（略称：追大、大阪府茨木市、学長：真銅 正宏）社会学部は、2025年7月18日（金）から23日（水）まで茨木市立ギャラリーにて、美術作品の鑑賞体験を共有するための方法を模索する黒木 結（くろき ゆい）氏の「鑑賞のプロセス」シリーズ作品を展示する展覧会「鑑賞のプロセス：フランシス・アリス | 鑑賞のプロセス：ルイーズ・ブルジョワ」を開催します。

本展覧会は、映像や写真、演劇などの創作とメディアや文化の分析を通じて社会を深く理解し、行動していく技術を学ぶ社会学部社会学科社会文化デザインコースの授業の一環として開催するものです。授業を担当する澤田華特任助教のもとで学ぶ学生ら10名が展覧会や制作活動のプロセスを間近で学び、その学びを自身の創作活動や卒業制作へと生かしていきます。

今回展示予定の「鑑賞のプロセス」シリーズは、美術家 黒木結氏が美術作品の鑑賞体験を共有するための方法を模索することを目的に始めた作品で、本展では、フランシス・アリスとルイーズ・ブルジョワという二人のアーティストの作品を鑑賞し、作品を少しずつ理解していくプロセスを元に作品を制作しています。

「鑑賞のプロセス | フランシス・アリス」では、社会的・政治的なテーマを多く扱うアリスの作品の鑑賞体験を通して、思い出したことを元に描いたドローイングを展示。「鑑賞のプロセス | ルイーズ・ブルジョワ」では、自身の人生や記憶をテーマにしたブルジョワの作品を鑑賞した体験を元に、映像や写真など様々なメディアを用いて制作した作品を展示します。

ひとつの会場を共有して、2つの展覧会が対比するように構成される予定です。学生たちはこうした作品の根底にあるものを受け広報活動や展示の準備を行いました。

学生らは授業の中で、黒木結氏による自身の作品のレクチャーや、作品を体験するワークショップなどに取り組みました。作品や作家への理解を深めながら、展覧会の進め方や、企画・運営に必要な知識や技術を学び、会期中は会場の運営も担当します。

展覧会は7月18日（金）から23日（水）の間茨木市立ギャラリーで開催します。

【展覧会情報】

タイトル：黒木 結 「鑑賞のプロセス：フランシス・アリス | 鑑賞のプロセス：ルイーズ・ブルジョワ」

開催日時：2025年7月18日（金）～23日（水）10:00-19:00（※入場無料）

開催場所：茨木市立ギャラリー（大阪府茨木市永代町1-5 阪急茨木市駅ロサヴィア2F）

主催：追手門学院大学社会学部 / 共催：茨木市、（公財）茨木市文化振興財団

協力：追手門学院大学社会学部社会学科社会文化デザインコース

企画：澤田華特任助教 / デザイン：Studio Kentaro Nakamura



鑑賞のプロセス：フランシス・アリス
鑑賞のプロセス：ルイーズ・ブルジョワ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166 蛸原・織田